

いいまち 議会だより

2024年5月15日

第106号

発行：長野県飯島町議会



特集

光る飯島へ

p2~3

写真／議会広報委員会
飯島中学校卒業式

飯島町議会の情報を発信中! ▶



YouTube



X (旧Twitter)



f Facebook



@ Instagram

光る飯島へ



重点ポイント こども元気・豊かな暮らし

保育園・学校支援員制度の創設（185万円）

町は子育て支援がきめ細かく、産前・産後から発達や発育へのフォローなど切れ目なく伴走してもらえるという信頼感があります。お子さんの不安感への寄り添いだけでなく保護者の外助にも繋がり、将来的な社会参画への一助ともなるのではないかと感じました。



山口 朝香さん



塚本 邦厚さん

ふるさと飯島奨学金返還支援補助金（360万円）

飯島町で生まれ育った子どもたちが安心して帰ってこれることができる環境づくりの充実を期待します。



福祉タクシー券事業（756万円）



タクシー券の交付は必要だと思います。近年多発している高齢者による交通事故に町独自の対策が必要だと思います。自動車がないと生活ができない現状をなんとかし、高齢者が運転しなくても良い町になれば良いと思います。



小原 和則さん

飯島ルネサンス環境循環ライフ構想プロジェクト

スマート農業推進事業（410万円）



瀧本 祐一さん

スマート農業を取り入れるには財源がないと厳しい。地域特性を生かした農業を継続するためにも支援額の増額を望む。既存農家がスマート農業を取り入れてもらい、利便性の良さを実感してもらうためにも支援額の増額が必要。安価で長く使えない製品を購入し、短年で終わらないためにもそれなりの予算が必要。



3月定例会にて、令和6年度の予算が可決承認されました。令和6年度予算概要を確認し、注目する事業とその事業に対するコメントをお願いしました。9名の町民から回答をいただくことができました。項目ごとに掲載します。

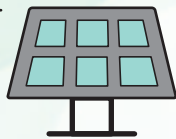


重点ポイント

脱炭素・環境共生の推進

電気自動車急速充電器設置事業（394万円）

議員当時に一般質問で要望した事業がやっと実現できる。田切の里は当初からある。国も世界も進める電気自動車化に寄与するものである。



竹澤 秀幸さん



小池 克志さん

新エネルギー普及対策事業（601万円）

太陽光発電と蓄電の組み合わせは、災害時の備えとしても今後有効になると思います。蓄電システムは、まだ量産効果が出ているとは言えず、普及促進のタイミングが難しいところですが、温暖化対策にとどまらず施策して頂ければと思います。



宮下 義信さん



坊主平キャンプ場設備設置工事（3,210万円）

コロナでの閉鎖前は、利用料無料ということがSNSなどで広まり軽微な設備でも大変にぎわっていました。ぜひ収益の上がるキャンプ場になるように期待しています。

人口増プロジェクト

定住促進事業（8,098万円）

若者・子育て世代の人口増は、ここで産み育てたいと思える場所（子育て制度の充実・自然+質の高い学び）だと感じます。更なる子育て支援の充実、勉強量ではなく、素晴らしい飯島町の自然を生かし、五感・生きる力を考え続けることができる質の高い学びがカギだと思います。



紫芝 真友美さん



那須野 市雄さん

出会いの場の不足と雇用状態の改善が図られず、結婚や子育てをあきらめる人が多い現状を改善すべきだと思います。どんな良い施策であってもそこで生きる人間がいなくなってしまうのは何の意味もない。社会が子どもを育てる施策を最上位に位置付けるべきだと思います。



令和6年度予算概要はこちら

一般会計予算の詳細はこちら



幸福度アップなるか

総務産業委員会は、令和6年度一般会計予算案・令和6年度水道会計予算案・令和6年度下水道会計事業予算案の3件の調査をおこなった。出された主な内容は以下の通り。

令和6年度予算

一般会計

◆総務課

秘書広報係

問 町長交際費85万円の使途の公表を望むが。

答 内容を記録しているが、公表は考えていない。

問 文書管理システム導入業務1,162万円は高額だ。ランニングコストを含めているのか。

答 導入費用で、ランニングコストは毎年100万円ほどとなる。

問 文書管理システムは、電子決済・一般文書・伝票も含んでいるのか。

答 含んでいる。

庶務係

問 県への派遣職員156万円の業務内容は。

答 今後の職員人事にて明らかになる。

危機管理係

問 防災訓練で日赤奉仕団の業務見直しは。

答 自助共助が大切であり、自主防災会が機能するかの確認をする機会。

◆企画政策課

企画調整係

問 電子入札システム495万円の委託料の内容は。

答 主は初期導入費用。ランニ

ングコストは来年度から年額100万円ほど。

問 セキュリティは大丈夫か。

答 担保されている。

◆産業振興課

農政係

問 多面的機能支払推進交付金8,218万円の状況は。

答 満額要求を行っているが、全国から要望が多く、例年並みの60%程と考えている。

問 農村地域防災減災事業2,420万円の大幅減額の要因は。

答 県の事業予算割合の減額による。(原井用水・水路橋の耐震・朝待ち水路など)

問 ミヤマシジミ保全149万円はどのような取り組みか。

答 ミヤマシジミ里の会が行った保全に伴う現物支援。保全地

域が明確化したため看板の設置などを予定。

問 未来へつなぐ小規模農家支援事業150万円は、農業機械の新規購入のみが対象か。中古品や修繕も対象となるのか。

答 1事業者1回利用でき、中古品の購入も対象。修繕は対象外である。



兼業農家も使える！

問 修繕が対象外の理由は。

答 個人資産になるため。



元気にはばたけ！

商工係

問 令和5年度に実施した商業施設誘致事業に係る造成費用の負担は誰がするのか。

答 造成地の売却決定後に事業者が負担する。

耕地林務係

問 町有林整備事業737万円の内容は。

答 白山権現2ヘクタールの伐採・植林を行う。

問 島河原地区圃場整備の進捗状況は。

答 本郷地区の検討委員会で進めている。JRは費用負担を了承。今後積算・事業計画・令和6年前半に地元の合意を得たい。

問 表土を戻すのはJR負担か。

答 現在協議中。

問 道路工事との兼ね合いは。

答 圃場整備先行で考えている。

◆建設水道課

建設係

問 道路維持費656万円の増額要因は。

答 町道照明のLED化が主要因。電気代は中部電力で試算した結果安くなる。

問 河川整備事業2,820万円で、川床土砂対策は考えているのか。

答 1級河川は県が実施。地元からの要望があれば行う。

問 唐澤川の管理者は。

答 踏切より下流は1級河川で県の管理。上流は準用河川で町の管理と同じ川でも区分が違う。調査費の70%は県の負担。

問 踏切道路改良計画事業6,450万円のうち、JR協定業務とは。

答 七久保駅南側の新田第一踏切の改良に伴う協議を委託。



踏切は安全に渡ろう

調査計画係

問 危険空き家除却の昨年の実績と今後の動向は。

答 去年は補正を含め実績4件。今年は検査済み物件5件を計画。

問 住宅耐震対策促進事業267万円の内容は。

答 耐震補強工事に100万円、建て替えのための解体工事に80万円を補助する。

水道係

問 公共下水道事業2億280万円の増額要因は。

答 償還費増額による。

◆地域創造課

地域係

問 自治会組織のあり方検討の考え方は。

答 新自治会長15名で組織を立ち上げて取りまとめる。

問 区長報酬90万円の配分は。

答 4区で均等割。

問 自治会長報償費172万円の配分は。

答 均等割16万円＋人口割。

定住促進室

問 飯島町に光をそそぐ関係事業で、募集が多くなった場合の対応は。

答 相談件数は多く、補正も考えている。

問 現時点の申請希望者は。

答 取得は16件、リフォームは27件。

問 変更された要綱の内容と周知は。後で改定されても議会ではわからない。上限がある旨をしっかりと伝えてほしい。町単費の他の予算と考えが違う。

答 「予算の範囲内で」と改定。特に周知していない。

環境循環ライフ構想推進室

問 食農連携機構への負担金12万円は機能しているのか。

答 企業紹介などがあつた。機構から職員派遣もあり、効果はあると感じている。

問 「越百のしずく発電所」の稼働はいつか。

答 令和7年度を予定。

問 石楠花苑に設置予定のバイオマスボイラーの進捗は。

答 社会福祉協議会には説明をしている。15年稼働してもらわないと効果がない。現在回答を待っている。

水道事業会計

問 衛星を活用した漏水調査業務委託とは。

答 衛星からの電磁波により漏水個所を特定する。

問 精度は。

答 半径100m範囲で特定さて、配管網に色付けされる。有収率80%ほど。

下水道事業会計

問 動力費が下がっているが。

答 令和5年度に対し89.1%で確認済み。

手厚い福祉政策

社会文教委員会は、本会議より付託された1件の条例審査・1件の陳情審査を行った。また、令和6年度予算4件の事業調査を行った。出された主な内容は以下の通り。

令和6年度予算

一般会計

◆住民税務課

住民係

問 マイナンバーカードの交付実績は。

答 カード取得者は6,129枚。

問 人権擁護委員6万円の活動内容は。

答 町で推薦した人が、法務局と町で実施する相談日に1日対応している。人権の啓発活動。

問 児童手当費1億2,762万円の改正内容は。

答 12月から中学生から高校生まで対象が広がり、支給が年3回から年6回の支給に変更。

生活環境係

問 飯島には水資源が豊富、水素エネルギーを民間と協力して実施できないか。民間と協力すれば企業からも支援があると考えが。

答 町内の企業と協力しているが、大手企業とも協力をしていきたい。

問 町営墓地の売買対応は。

答 墓の売買は個人対応であるが要望があれば紹介をする。

問 焼却するゴミの量が増えているか。

答 事業系のごみに資源とすべき雑紙が混入し、焼却ゴミが増えている。事業者への雑紙分別を促す。また、令和7年からご

みの分別方法が変わり、ハードプラスチックは資源扱いとなる。

税務係・収納対策係

問 徴収事務の共通標準システム1,050万円の内容は。

答 令和8年までに全国共通でバーコードやQRコードにより納税が出来るシステムを導入。

問 預貯金捜査照会システム13万円とは。

答 滞納者の口座情報を電子データで問い合わせができるシステム。システムに加入しない銀行は紙で問い合わせをする。

◆教育委員会

こども室

問 特別支援教育アドバイザーとは。

答 公認心理士の資格者で週3日から週5日勤務に変更した。早期に子どもの発達度合を測り、支援に繋げる。

問 保育士の人数は。

答 正規職員18人、会計年度任用職員30人。

問 子どものための教育・保育給付費273万円の給付は町外の施設も対象か。

答 対象である。国の基準に応じて町から支払う。

問 保育園の統廃合の予定は。

答 未満児を1ヶ所に配置することで、保育士の効率化を図る。

問 給食センターの空調・厨房・排水施設清掃業務232万円は。

答 年に1回行う厨房エアコンの掃除と毎日の厨房清掃。

問 異文化交流事業講師79万円は。

答 町内在中の外国人に講師を依頼し、小中学校で英語教育と異文化交流を支援してもらう。

問 オンライン学習教材205万円は。

答 タブレットを使用し、個人の能力に応じた学習に取り組める。自動採点をしてくれるドリルアプリ。

問 ふるさと飯島奨学金返還支援補助金360万円は。

答 奨学金を利用した生徒が町に住み就業すると補助金が出る制度。業種は農業も含める。広報はホームページ・回覧板など。

問 中学校の文化琴129万円は。

答 今まで赤穂中から琴を借りていたが、長くて運搬が大変なので15台購入する。

問 放課後児童健全育成事業148万円の内容は。

答 平日は14時から18時半まで、飯島小体育館で児童50人を会計年度任用職員4人で対応。夏休みは100人に増えるため、文化館で増員して対応。七久保小は学童室・図書館で児童10人を会計年度任用職員3人で対応。夏休みは20人ほど。預かる児童はどちらも増えている。

生涯学習係

問 公民館費211万円の内容は。

答 4区の公民館にエアコンを設置する。

問 屋外運動場の土地購入費4,350万円の内容は。

答 柏木運動場を国スポでホッケーのサブ会場に利用するための用地6,500㎡の取得費。

問 B&G海洋センター改修工事5,266万円の内容は。

答 国スポにてクラブハウスに改修する。B&G財団から2,020万円の補助がある。

問 地域部活動指導者92万円の内容は。

答 サッカー・野球・卓球・バレーボール・バスケットボールの休日指導分で、時給900円。

◆健康福祉課

地域福祉係

問 ひきこもりサポーター派遣100万円の内容は。

答 ひきこもりの人に伴走支援・居場所でのスタッフ費用で6人分程度。3年ごとに更新。

問 生活困窮者支援等の地域づくり事業48万円の内容は。

答 相談業務や訪問・食料支援などを社協に委託。

問 障害者相談支援事業261万円の内容は。相談場所を近隣に設置してほしいが。

答 伊那市の「きらりあ」を8市町村で運営している町負担金。相談場所は検討する。

高齢者福祉係

問 福祉タクシー券交付事業の280万円増額した内容は。

答 免許証を持っていない日中独居者は18枚から36枚へ拡充し、対象範囲を広げたため。

問 高齢者補聴器購入費助成10万円は。

答 対象年齢を65歳以上に引き下げ、5人分を計上。

保険医療係

問 出産・子育て応援給付金380万円は。

答 妊娠した時5万円、出産後5万円を給付する。

問 風しんに関する追加的対策227万円の内容は。

答 令和6年度で抗体検査の補助が終わる。未実施者550人に検査を促し、予防接種に繋げる。

国民健康保険特別会計

問 基金の積立残高は。

答 約1億6,000万円。

問 被保険者数は。

答 1,823人の1,123世帯。

問 いいちゃん健康ポイントは台紙の他にアプリの活用を。

答 今後検討する。

後期高齢者医療特別会計

問 被保険者は。

答 2,036人でしばらく増えていく。

問 保険料はこのままで大丈夫か。

答 令和6・7年度増額。見直しは2年ごと。

犯罪被害者等支援条例

採択すべきもの

概要

犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者等が早期の回復や軽減・生活の再建や権利利益の保護ができるようにする。

質 議

問 住民票があれば、住まいが他でも対象となるか。未成年者も対象か。

答 対象となる。

問 遺族は同性婚も含まれるのか。支援の期間は。

答 事実婚も含まれる。長期に渡る。

討 論

賛成 犯罪被害者支援の歴史は浅く、犯罪被害者は長きにわたり置き去りにされていた。町の取り組みを評価する。

賛成5 不賛成0

陳 情

採択すべきもの

えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める。

提出者：西村吉次氏

質 議

問 検察が所有する証拠の全面開示は賛成するが、再審開始決定での不服申し立てはどう考えているか。

答 上告により簡単に再審を覆すのではなく、裁判所で再審をしっかりと議論して決論を出して欲しい。

討 論

賛成 えん罪被害者の長期に渡る苦しみはよくわかるので、再審を速やかに行うことが大切。

採 択

賛成4 不賛成0

会計年度任用職員も職員と同じ支給基準へ

3月定例会は、3月1日に開催し、18日までの18日間開催。条例12件・補正予算4件・予算6件・その他3件・陳情1件が審議され可決された。また、発議4件が追加上程され審議され可決された。（評決結果は、P.10参照）

令和6年度 予算

一般会計

総額56億8,000万円

◆重点施策

1. こども元気・豊かな暮らし
 - ・保育園・学校支援員制度の創設
 - ・福祉タクシー券事業拡充
 - ・ひきこもり支援の拡充
2. 脱炭素・環境共生の推進
 - ・道路照明のLED化事業
 - ・ミヤマシジミの保全事業
3. デジタル化の推進
 - ・LINEによる行政情報の発信
 - ・文書管理システムの導入

主な質疑

問 会計年度任用職員の処遇改善が進んだが、継続雇用を制限する基準を設けている自治体がある。当町も基準があるか。

答 町では年度による制限を設けてはいない。

問 農業者の高齢化により農地の維持が難しい状況。ドローンなどの導入支援が必要だが。

答 中山間地に積極的なスマート農業を進め、若手の従事者を増やしたい。

問 光をそそぐ関連事業により、49歳以下の人口が令和3年度以前よりも令和4年度以降の方が増えているのか。

答 明確な人数は把握していないが、補助事業により転入している方がいるのは事実である。

問 福祉タクシー事業で初乗り料金の700円で主要な施設に行ける場合は良いが、不足する場合は現金が必要で、居住地による不公平感がある。マイナンバーカードを利用したタクシー券の進捗は。

答 マイナンバーカードを利用するシステムが高額となることや、居住地によるタクシー券の差別化した他の市町村での事例がない。再度検討を進めていきたい。



求められる利便性

問 倒壊する恐れのある家でも、更地よりも固定資産税の軽減があるため残したままである。補助金を活用し、更地にして転入者に売却できる仕組みができないのか。

答 空き家登録している方や事業者と協力して進める。

討論

賛成 補聴器補助金や福祉タクシー券事業の拡充を評価する。子育て世帯に重点を置いた予算であることを評価するが、光をそそぐ関連事業の検証を。小規模農家への支援を評価するが、機械の修理も補助対象にする検討を。

国民健康保険特別会計

総額9億3,433万円

討論

賛成 健康診断受診率が上伊那1位、取り組みを評価する。

後期高齢者医療特別会計

総額1億8,694万円

介護保険特別会計

総額11億3,042万円

◆重点施策

1. 元気アップ講座創設
2. フレイル予防教室拡充

問 生きがい教室に参加されている人は、元気アップ講座に変わるとどうなるのか。

答 生きがい教室の参加者が介護保険に移行するなどで減少している。より若い世代が参加できるように新しく事業を行う。

水道事業会計

総額4億5,190万円

◆重点施策

・衛星の電磁波を活用した漏水調査業務

討論

賛成 経営環境が厳しい中で健闘していることを評価する。収益的な事業の検討を。

下水道事業会計

総額9億2,645万円

◆重点施策

・新しい移動脱水車、運用開始

条例の制定並びに改正

飯島町犯罪被害者等支援条例の制定

国の犯罪被害者等基本法に基づき、町と町民が犯罪被害者等の権利保護をする条例の制定。

個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例改正

国の法律改正に伴う。

特別職の給与に関する条例改正
林務委員の廃止と、消防団の分団及び特科の訓練報酬が3,500円から2,000円に減額された。

職員の定年等に関する条例改正
職務級が5級（課長補佐）以上の職員を、管理監督職と同じ定年規定を適用する。

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例並びに育児休業等に関する条例改正

地方公務員法の改正により、会計年度任用職員に勤勉手当を支給可能となった。

問 対象の人数と対象外の数
は。

答 対象は175人で、対象外は15人である。

問 週20時間勤務を基準とした理由は。

答 雇用保険の対象となることを基準とした。

消防団員等公務災害補償条例の改正

消防団員の損害補償の基準を増額した。

手数料徴収条例の改正

戸籍法の改正により電子証明書の交付料金を定めた。

介護保険条例の改正

国の介護保険法改正に伴い、保険料の徴収基準を10段階から13段階に変更。低所得者では減額し、高所得者では増額された。

討 論

賛成 基準が見直され、低所得者にやさしい制度になり評価。

福祉医療費給付条例の改正

ひとり親家庭の親が後期高齢者に該当する場合でも医療費の給付が受けられるようになった。

産業振興条例の改正

林務委員の廃止に伴い、審議会の委員から削除する。

町営水道条例等の改正

水道法等の権限が厚生労働大臣から国土交通大臣へ変更されたことによる。

問 変更理由は。

答 厚生労働省が感染症対策に集中をすることにより、担当部署を移動させた。

問 水質基準に変更はないのか。

答 変更はない。

令和5年度 補正予算

一般会計（第9号）

国民健康保険特別会計（第3号）

後期高齢者医療特別会計（第3号）

介護保険特別会計（第3号）

事業費確定による補正。

その他

弓道場の指定管理者

弓道場の指定管理を飯島町弓友会に指定することの同意。

問 委託料に変更はあるのか。

答 年間5,000円を増額した。

町道路線の変更6件

下水道事業移動脱水車購入事業
契約期間変更の契約締結。

陳 情

えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める。

討 論

反対 すでに国会で動き始めており、地方議会で審議すべき案件ではない。

議員発議

再審規定（刑事訴訟法）の改正を求める意見書

訪問介護報酬削減の撤回を求める意見書

裏金問題の解明と政治資金の透明化を求める意見書

少子化対策財源に保険料上乗せを行わないように求める意見書

討 論

賛成 保険料に上乗せすることは、税金以外のところで負担を行うことになり問題。

反対 少子化は重要な課題、所得に応じた負担で、金額は平均しても大きくはない。

公開します〔3月定例会 審議議案と議員の賛否〕

上程議案・概要・結果 賛成：○ 不賛成：×		結 果	伊 藤 秀 明	坂 井 活 広	折 山 誠	坂 本 紀 子	宮 脇 寛 行	浜 田 稔	三 浦 寿 美 子	堀 内 学	星 野 晃 伸	片 桐 剛	吉 川 順 平	久 保 島 巖	参 照 ペ ー ジ
○…賛成多数で原案を可決・認定・採択 ×…賛成少数で原案を否決・不認定・不採択 △…原案に対する修正案を賛成多数で可決・認定・採択															
条例の制定及び一部改正														注	
犯罪被害者等支援条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p7~9
個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正		○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○		p8~9
特別職の職員等の給与に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
職員の定年等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
職員の育児休業等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
消防団員等公務災害補償条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
手数料徴収条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
介護保険条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
福祉医療費給付金給付条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
産業振興条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
町営水道条例等の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
令和5年度 補正予算															
一般会計(第9号)	241万円減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
国民健康保険特別会計(第3号)	172万円増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
後期高齢者医療特別会計(第3号)	153万円減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
介護保険特別会計(第3号)	3,285万円増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
令和6年度 予算															
一般会計	56億8,000万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p4~9
国民健康保険特別会計	9億3,433万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p6~9
後期高齢者医療特別会計	1億8,694万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p6~9
介護保険特別会計	11億3,042万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p6~9
水道事業会計	4億5,190万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p4~5 p8~9
下水道事業会計	9億2,645万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p4~5 p8~9
契約の締結など															
弓道場の指定管理者の指定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
町道路線の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
下水道事業移動脱水草購入事業に関する変更契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p8~9
陳情															
えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p7~9
意見書															
再審規程(刑事訴訟法)の改正を求める		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p9
訪問介護報酬削減の撤回を求める		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p9
裏金問題の解明と政治資金の透明化を求める		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		p9
少子化対策財源に保険料上乗せを行わないよう求める		○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○		p9

(注) 議長は議事進行のため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」で表明。

6月に、議員定数・報酬に関するアンケートを実施します。

議会は、町の「条例・予算・他議案 など」を審議・議決する最高決定機関です。

その機関が滞りなく運用できるかどうか…

すなわち、飯島の将来が滞りなく運用できるかどうか…

大切なアンケートです。

皆さんの積極的な意見をお聞かせください。



定数報酬アンケート

「まちびと政策プランナー会議」 委員募集

応募資格／中学生以上の町民ならどなたでも(任期1年 再任可)

応募人数／中学生3人、高校生・10代3人、20～39歳4人、40～59歳4人、

60歳以上4人の計18人(定員に満たない場合は、他の年代を増やす)

応募期間／6月16日まで(募集多数の場合抽選)

会議日程／6月28日から月1回で計6回予定

町や議会に提案や要望はありませんか。政策として、みんなで練り上げ提言書にして、町や議会に提案します。あなたのアイデアが未来の飯島町をつくれます。

奮ってご応募ください。詳しくはホームページをご覧ください。



政策プランナー会議
応募用紙

町政を問う

10議員が質問

「一般質問」とは行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

- 片桐 剛** **町の危機管理体制** **大規模災害時の体制は** P12
- 吉川 順平** **能登半島地震** **教訓を活かした防災対策** P13
- 星野 晃伸** **企業の事業承継** **企業の現状調査は** P13

- 宮脇 寛行** **基幹産業の農業支援** **町長が考えるスマート農業とは** P14
- 伊藤 秀明** **商業施設の空き区画** **タウンミーティングの実施は** P14
- 坂本 紀子** **社協の事業** **デイサービスを辞めては** P15
- 浜田 稔** **町の少子化・人口減少** **具体策は** P15
- 坂井 活広** **飯島町の子どもの貧困** **貧困家庭の割合は** P16
- 三浦 寿美子** **訪問介護報酬引き下げ** **厚労省に処遇改善を** P16
- 折山 誠** **七久保診療所再開** **新年度の取り組みは** P17



◀◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



町の危機管理体制

大規模災害時の体制は

柏木運動場を中心に物資輸送 町長

問 近い将来、南海トラフなどを起因とする大規模地震が想定される。当町における被害想定は。

町長 避難者数は450人・倒壊建物は全壊が30棟・上水道断水率83%・停電件数3,290戸を想定。

問 令和4年9月の一般質問でも問うたが、町公開の指定緊急避難所・指定避難所の収容人数の更新がされていないが。

総務課長 更新時期は決まっていないが今後検討する。

問 隣接市町村とは、橋でつながっており発災時には孤立が想定される。物資運搬体制は。また、町全体での大規模な防災訓練の在り方も見直す必要があるのでは。

副町長 伊南バイパスは震度7でも対応できる。

柏木運動場を拠点とし、物資輸送を考えている。

防災訓練は、今後の改定の中で考えたい。

問 東日本大震災の震災関連死※のうち、南相馬市では、520人

中267人が要介護認定者であった。発災後の要介護認定者の支援体制は。

健康福祉課長 避難所ごとに要支援者名簿などを活用して、実態把握を行う。

問 保育園、小中学校での防災・減災教育の実施状況は。

教育長 年に8回あまり地震を想定し様々な時間帯で避難訓練を行っている。

問 商業施設開業に伴い、交通事情の変化が想定される。近隣住民・登下校生の安全確保は。

建設水道課長 地元要望もある。交通量増加は想定しており、公安委員会とも信号機設置等の改良に向けた交差点協議を行う。

※死因が震災と因果関係が認められるもの。



能登半島地震

教訓を活かした防災対策

様々な想定の見直しが必要 町長

問 教訓を活かした地域防災計画の内容の見直しは。

町長 災害協定の追加、職員配備体制の変更、福祉避難所の追加等総体的に見直しを進める。

問 飯島町の物資の備蓄状況は。

総務課長 人口の5%の2日分を備蓄。2700Lの飲料水と3000食の非常食を確保。

問 避難所の環境対策は。

総務課長 各自主防災からの要望により防災用装備品の拡充に対応する。



ビニールハウス避難所風景

問 災害の教訓を活かした地震防災総合訓練の実施の考えは。

総務課長 自助と共助の質を高めるをテーマに基本線を抑えながら訓練内容を検討する。

問 小中学校を対象とした夏休み防災学習の予定は。

教育長 地域の住民と一緒にになって避難所生活体験が望ましい。

第6次総合計画

問 リニア中央新幹線・三遠南信自動車道開通に対する戦略は。

町長 ①道を繋ぐ ②技をつなぐ ③風土をつなぐ ④生活をつなぐ ⑤人をつなぐ の5つの分野でしっかりつなぎながら若者が住みやすいまちづくり、住んでみたいまちづくり、住み続けたいまちづくりを目指す。

▶その他の質問

- ・未来をひらく食農教育
- ・「国消国産」について

3月定例会では議員10名が登壇し町政を質しました。



企業の事業承継

企業の現状調査は

危機感を持ち取り組む 町長

問 町は、企業の実態を把握しているか。

町長 町の企業経営者の高齢化と、後継者不足を喫緊の課題と認識している。

問 事業承継の相談窓口はあるのか。

産業振興課長 相談窓口は、金融機関・税理士・長野県事業承継引継ぎ支援センターなどである。町としては、商工会・金融機関などと連携し、相談会開催などの周知に努める。

問 補助金やサポート体制は。

産業振興課長 町と国に事業承継の補助金制度はある。役場に相談を。

柏木運動場

問 南信で国スポ後を考えナイター照明は不可欠だが。

教育長 ホッケー会場として整備する上で、照明は県の補助金の対象とならないため設置しない。

今後、検討する。

ドローン使用

問 町に登録が必要か。台数の把握はしているのか。

建設水道課長 町への登録義務は無い。

令和2年の航空法改正により、100g以上の機体は国への登録が必要となった。

飯島では建設関係で5台、農業関係で4台の保有を確認している。

問 町でドローンの条例を考える予定は。

町長 住民の意見を聞き考える。



基幹産業の農業支援

町長が考えるスマート農業とは

農業の新しい在り方と考える 町長

問 町長が考える「スマート農業」はどのような農業か。

町長 情報通信技術を活用して省力化・コスト削減・生産性の向上・農産作物の品質向上・事業継承に欠かせない技術やノウハウのデータ化・環境負荷の低減などを実現するための農業。

問 集落営農の具体的なイメージは。

町長 中山間地の豊かな暮らしを守り、居心地よいまちづくりを進め、未来につなげる。経営の安定化や共同作業による

負担軽減・担い手不足の解消を目指す。

問 新3Kの農業とは。

町長 「かっこよく、稼げて、革新的な」農業のこと。

スマート農業・ブランド化による販路拡大・6次産業化による収益向上など、しっかりと稼げる環境を整備したい。

問 女性の就農環境改善対策事業は、小規模農家も補助対象に条件の軽減ができないか。

産業振興課長 従事日数の見直しを考えていきたい。

問 野菜の栽培講習会に、自給自足農家も参加できないか。

産業振興課長 販売できるレベルの野菜作りや本格的な栽培にチャレンジしたい方であれば受け入れをしていきたい。

飯島流ワークショップ

問 令和5年度の実績予測は。

地域創造課長 予約を含め202泊657名となり、進捗率は135%。

問 令和6年度の目標は。

地域創造課長 令和5年度の実績に100泊を追加し、250泊を目標とする。

▶その他の質問
・要望種の扱いについて



◀◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



商業施設の空き区画

タウンミーティングの実施は

時期は未定だが実施する 町長



なにができるの？

問 商業施設のタウンミーティング※はするのか。

町長 時期は未定だが、実施したい。

問 企業誘致をどのように行うのか。

産業振興課長 町民が必要とする企業、店舗を誘致すべきと考えている。

ただし、商業施設の誘致は、企業のマーケティング判断で決まるので、町民の意見で必ず決まるものではない。

子供の不登校・虐待

問 毎年増えているが原因と対策は。

教育長 不登校は、非常に大きな課題と認識している。

各小学校では大きく増えてはいないが、中学校は増えていると感じる。

身体の不調で欠席者が増えている感じはある。

これらの要因は、学校だけでなく、多様な学びの場も認められてきていること・学ぶ意欲の希薄・心の面での不安やコミュニケーションが困難・保護者の心の不安定・家庭環境が複雑など様々な理由が考えられる。

虐待は増えてはいない。

※地域住民の生活に関わる事項を話題とする集会のこと。

▶その他の質問
・町長懇談室
・公共施設の在り方
・乳幼児検診
・まちづくり条例設置



坂本 紀子

社協の事業

デイサービスを辞めては

理事会の中で決める 町長

問 町内でデイサービス（以下「デイ」という）のみの事業所はいくつあるか。

町長 デイを運営している事業所は5ヶ所。うち、デイのみは2ヶ所。

問 社協のデイは縮小している。町全体の福祉を考えたら障がい者や引きこもりなど、社協にしかできない事業に重点を置いたらどうか。

副町長 社会福祉法が変わり理事会の権限が強くなった。理事として意見は言うが、デイをい

つまでやるかは、理事会の中で決めていく。

問 社協が運営している「こまぐさ園」は老朽化している。「石楠花苑」に事業を移転しては。

副町長 現在移転は困難と聞いている。令和4年の取り壊しを延長しているが、具体案は未定。

赤線※対応は

問 町内に何筆あり、どのように管理しているのか。

企画政策課長 約4,700筆で、

全ての確認はまだ。杭の色の指定はない。

問 管理は誰がしているか。

企画政策課長 町で全ての管理は難しく、隣接の地権者の方々の協力に依る。

問 私有地の工事により赤線内を使う場合の手順は。

企画政策課長 工事主は町へ許可申請書を出し、町が現地確認をする。

工事で杭を抜いての作業の場合は、申請者や関係者の立ち合いをする。

※赤線とは、道路法上の道路に認定されていない道路。

▶その他の質問

・コロナ禍の子どもへの影響は

3月定例会では議員10名が登壇し町政を質しました。



浜田 稔

町の少子化・人口減少

具体策は

ライフステージに応じて対策 町長

問 国も「異次元の少子化対策」を打ち出したが、所見は。

町長 毎年100万人都市が消滅するスピードで人口減少が進み、超高齢化社会から立ち上がれなくなる。

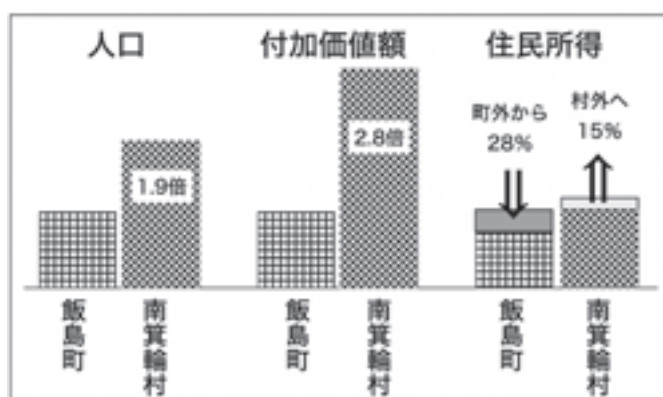
育休・保育支援、働き方改革の促進、社会全体の意識改革などが提唱された。

問 町が捉える課題と具体策は。

町長 東京一極集中と非正規労働者が増えて結婚・子育てできないという構造的な問題がある。町は国・県と連携し、ライフス

テージに応じた切れ目のない総合的な少子化対策を進める。

問 南箕輪村との違いが論じられる。当町と経済力を比較してみたが所見は。



町長 地域経済が豊かでないと、定着人口は少なくなると認識している。

木質バイオマスエネルギー

問 地域の森林は活用されていない。中部伊那地域（飯島町・中川村・松川町・大鹿村）が連携し、バイオマス発電機をそれぞれ設置してはどうか。

町長 木質バイオマスも中部伊那の連携の中で研究する。



飯島町の子どもの貧困 貧困家庭の割合は

約1割である 教育長

問 要保護・準要保護児童生徒とは、どのような世帯の子どもをいうか。

教育長 要保護児童生徒とは、生活保護を受けている家庭の児童生徒。準要保護児童生徒とは、生活保護に準じる程度に生活が困窮している家庭の児童生徒。

問 町の児童生徒の総数は何人か。そのうち、要保護児童生徒・準要保護児童生徒の世帯（以下「貧困家庭」という）の児童生徒数は何人か。

教育長 児童生徒の総数は630

人。うち、貧困家庭の児童生徒数は、66人である。

問 町の児童生徒のうち、約1割が貧困家庭ということか。

教育長 そのとおりである。

問 過去10年間の貧困家庭の児童生徒の割合の推移はどうか。

教育長 過去10年間、概ね1割で推移している。

問 町は、貧困家庭の児童生徒の高校卒業後の進路は把握しているのか。

教育長 把握していない。

問 高校卒業後の進路の把握は

できるのか。前向きな検討を求めるが。

教育長 高校に確認することはできる。

問 京都府の調査では、貧困家庭とそれ以外の家庭の児童生徒の間には、学力に明らかな差が出ている。

経済的な支援は絶対に必要だと考えるが、お金をかけず学力を向上させる施策は。

教育長 子ども達の自己肯定感を高める教育が重要だと考える。子ども達に自分がいる意味を感じてもらう教育、地域の方と共に学び、活動することで、自己肯定感を高めて、僕も頑張ってみようと子どもが感じる事が学力にも影響すると考える。



◀◀ 詳しい内容・議会の様子は、議会ホームページよりご覧いただけます。



訪問介護報酬引き下げ 厚労省に処遇改善を

状況把握し要望したい 町長

問 訪問介護報酬引き下げが報道されている。町内事業所の状況を把握しているか。

町長 現段階で把握していない。

問 訪問介護職は全国的に求人2割しか応募が無く、9割の

訪問介護事業所が人手不足で依頼を断っている。

平成24年から訪問介護時、生活援助にける時間を60分から45分に減らされた。

基本報酬も、令和6年度から4%

削減される。訪問介護事業所の昨年の倒産件数は過去最高の67件であった。訪問介護報酬が引き下げられた場合の町の介護事業所への影響が心配されるが。

町長 介護報酬全体では0.24%上がるという数字

が出ている。加算を受ければ、報酬が上がってくると考える。

今後、関係事業所と懇談したい。

問 報酬加算を受けられない事業所もある。訪問介護の仕事は移動などに時間がかかり、不効率で賃金が低い。介護職員の高齢化もしている。

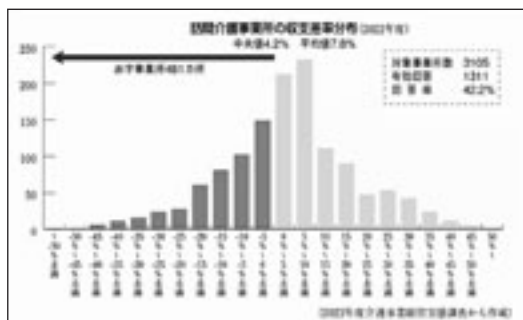
町の福祉事業も担っている。人手不足で、町の在宅介護が維持できなくなる心配がある。

町は厚労省に訪問介護職員の処遇改善を求めて欲しいが。

町長 既に令和6年度の事業は決定されている。次の改定に向けて状況を把握しながら、要望できるところは要望していく。

▶その他の質問

- ・学校給食費の無償化
- ・学校のトイレに生理用品配置



赤字訪問介護事業所



七久保診療所再開

新年度の取り組みは

自ら先頭に立ち取り組む 町長

問 七久保診療所医師確保に、新年度は専任職員体制で取り組むことを求めるが。

町長 現体制の中で、正副町長が情報収集や訪問など、先頭に立って取り組む。

2月に、心当たりのある医師に働きかけたが招致に至らなかった。

非正規職員の処遇改善

問 役場正規・非正規職員の賃金格差の現状をどのように捉えているか。

町長 会計年度任用職員の一般事務職は、正規職員の65%から80%程度の賃金となっている。

問 新年度の処遇改善額は。

町長 当初予算で2,979万円の増額を計上している。

問 その職の熟練度と勤続年数を昇給額に反映させるべきでは。

副町長 経験年数に応じた処遇をすべきと考えている。

子ども・子育て支援

問 本年度の出生数は、35人弱と推計される。50数年前は230人ほど。新生児激減に町民の不安が高まっている。さらなる子育て支援の充実を求めるが。

町長 危機感を持っている。不転の決意で支援策に取り組む。

問 未満児の保育園受け入れを無条件かつ無料での実施を求めるが。

町長 保育士確保が課題だが、前向きに取り組みたい。



未満児の無条件受け入れが待たれる

議員視察

令和6年3月13日に、ごみ処理施設であるクリーンセンター八乙女及び上伊那クリーンセンターの視察を行った。

ごみ処理の流れ

ごみは大きく分けて3つの段階に分類される。

①収集・運搬

各自治体のごみを収集しセンターに運搬する。

②中間処理

ごみの分別を行い、燃えるゴミの焼却を行う。資源ごみはリサイクルを行う。

③最終処理

焼却時にでた飛灰を最終処分場に埋め立てる。

クリーンセンター八乙女

当施設には、資源ごみ・粗大ごみが持ち込まれる。

粗大ごみは、リチウム電池に代表される発火性がある物などを取り除いた後に、破碎をして金属と燃えるゴミに分別を行う。また、上伊那クリーンセンターで発生した飛灰を最終処分場に埋立て、水質管理を行う。



上伊那クリーンセンター

燃えるゴミの収集と焼却を行う施設。

搬入されたごみは、細かく均等に混ぜて焼却する。焼却時の熱を利用して発電することで、年間7,900万円の収入となっている。



「エネルギー・資源を無駄なく活用する」という上伊那クリーンセンターの姿勢が、飯島町の環境循環ライフ構想のヒントになると考える。

福祉計画で目指せ健康長寿！

議員全員で毎月会議を開催し、協議をする。内容は以下の通り。

1月22日 検討事項

1. 令和6年能登半島地震における職員派遣
2. 令和5年度実施計画
3. 低所得者支援及び定額減税補足給付金
4. 飯島町犯罪被害者支援条例
5. 飯島町資金管理及び運用基準の制定
6. 誤振込対策マニュアル
7. 公金振込手数料の有料化

2月14日 検討事項

1. 会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給
2. 2月5日の大雪
3. 健康福祉課所管各種計画の策定



各種福祉計画改訂

4. つなぐ農業プロジェクト
5. 林務委員会の解散
6. 百間ナギ崩落対策

3月18日 検討事項

1. 予算概要説明令和6年度予算概要説明

問 財産収入の内容は。

答 町有林伐採の売却。

問 公債費の減額の説明。

答 利率の高いものから返還した。

問 臨時財政対策債の減額理由。

答 国の試算により減額した。

問 財政調整基金は妥当な金額か。

答 必要な事業に必要な金額を使うので問題はない。

2. 障害者計画(第5次)

3. いのち支える自殺対策推進計画

4. 都市計画マスタープラン改訂及び飯島町立地適正化計画策定

アンケート結果を全職員の共有を求める。

5. 男女共同参画プラン(こころをつなぐまちづくり6)

上伊那広域連合議会

1. 上伊那・松本・諏訪の消防指令の共同運用に係る検討状況
2. クリーンセンター八乙女基幹改良工事



資源は大切に

伊南行政組合会議

1. 昭和伊南総合病院、新病院建設事業

- ①経過
- ②想定スケジュール及び発注方式
- ③建設候補地
- ④イメージ図

追跡

あれ
どうなった

一般質問・審査での意見
請願陳情その後のゆくえ

1. 第2分団第2部の駐車場の不足解消を

(令和3年12月 一般質問 片桐議員)

その後→令和4年・令和5年度一般会計予算

駐車場用地費と工事費 990万円で改良された

2. 与田切公園にペット持ち込み可能を

(令和3年12月 一般質問 坂井議員)

その後→令和4年4月からキャンプの一部区画で可能になる

いいまち 議会だより モニターのひとこと

第105号 広報紙面に対するご意見

1. 表紙

- ・この角度からの駅前の写真は見たことがなく、とても新鮮で良かったです。
- ・ドローンで撮ったのでしょうか。素敵です。
- ・イルミネーションの割に画質が粗く、少しぼやけていて残念でした。
- ・イルミネーションは、町の冬の風物詩に定着してきた感があります。

2. 特集ページ「自治会懇談会・定数報酬等小委員会報告」(要望を含む)

◆自治会未加入者への懇談会

- ・未加入者の生の声の掲載が良かった。初めての開催で15名集めたことは凄いなと感じた。
- ・近所にも移住された方が多いが、やはり自治会制度に疑問を持っているようです。
- ・出された意見から改善策を考え、移住予定の方へ丁寧に説明してほしい。
- ・自分も移住者で、自治会・隣組の慣習に疑問を持つことがある。ぜひ今後も様々な立場の住民の声を聞いてほしい。
- ・改めて自治会に入っていて良かったと思う。これだけ不満や要望が多いなら入会すれば良い。
- ・移住時に町から十分な説明をし、楽しく安心して暮らしていくためにも自治会に入ってくれる人が増えてほしいと思います。

◆定数・報酬等検討小委員会

- ・他の町村議会の状況も載っていて、大変なのは近隣も同じなのだと実感しました。
- ・議員報酬が低く、専業では生活ができないことがよくわかる。
- ・なり手不足は深刻だが、年齢が高く、長期間続けるしかない状態もどうかと思います。
- ・議員が職業として成り立つ仕組みが必要。報酬が低いとは知りませんでした。
- ・議員が町民の意見・国や県、近隣自治体の情報を生かして活動してほしい。
- ・報酬を上げる場合は、年齢ごとに差をつける必要はないと思う。
- ・「町民の声を議会へ」にもあったが、社会が多様化している現状を思うと、「様々な方たちの声を聴くのは12人では大変だ」には同感できる。

- ・議員の内女性が5名という時期があった。定数を考えるときには男女比率を考える必要がある。
- ・他自治体との比較や基準が示されていて具体的なイメージが描きやすかった。
- ・アンケート予定とあり、町民の意見を集約することは大切です。
- ・議員報酬を30万円程度に増額してほしい。
- ・若者が多く議員になることで、斬新な意見により町の活性化になる。

3. 定例会・各委員会

- ・「まちびと政策プランナー会議」に期待。魅力的な提案ばかりなのでぜひ実現してほしいです！
- ・多面的機能支払交付金の増額、国への働きかけを強く希望します。
- ・p.6「改修が望まれるトイレ」早急に改修して欲しいです。
- ・町民の民意や町の将来を見通した本質的な議論を期待したい。
- ・内容に具体性がなく、わかりやすく記載してほしい。

4. 一般質問

- ・保育料、学校給食費無償化はありがたいです。財政状況は厳しいと思いますが、実現してほしい。
- ・今年度の出生数、少なくて驚きました。
- ・トレーラーハウスは今後も様々な方法で活用できると良い。ネットで宿泊予約ができると利用しやすい。
- ・トレーラーハウスが移動できないのであれば、活用する方法を考えて。見直し無くやった事業に対して、議会も責任がある。
- ・「居場所」づくりには、買い物や食事・文化活動に車を持たない町民の足の確保が課題です。
- ・駅前活性化は、将来のまちづくりに欠かせない課題。高齢化・人口減少が進む現状でも、魅力のある町であることが、若い人たちの希望になる。
- ・「いいちゃんバス」は、使い勝手が悪くもったいない。

5. 全体を通しての意見・要望

- ・全体的に目を通しやすい構成となってきました。
- ・少子化対策で他市町村にはないようなアイデアを出して欲しいです。
- ・質疑応答に『言いました』や『答えました』と具体性が無い。形式的なやりとりがあり、町民の利益にならず、研究不足と思いました。
- ・「追跡あれどうなった」は大切なフィードバック記事です。一般質問により、その後何がどう改善されたか、今後どうなるのかが分かるので良い。
- ・生活は苦しいですが、全てを支援に頼ろうとは思いません。子育て支援の質疑があると、応援してもらえ、励みになる。
- ・議会のYouTubeでライブ配信をしてほしい。
- ・ゴミの回収場所を増やして欲しい。

町民の声を議会へ

このページは町民の皆様取材協力をお願いして、町政や議会への意見や感想を掲載しています。

今回は、「子ども食堂アムール」の中原望美さんに登場していただきました。

みんなの笑顔ここにある！

第3の子どもの居場所！を目指して「子ども食堂アムール」を立ち上げました。地域の皆様、一緒に活動してくださるスタッフに支えて頂き、4年目を迎える事ができました。

少しずつ広がり始めた月1回の子ども食堂では、様々な年代の方が同じ空間で楽しそうにお喋りしながら、ご飯を食べている姿が増えています。畑の活動にも力を入れ、育てた野菜を食べて頂けるようになりました。



今年度も、地域の皆様の声をしっかり聞き、少しでも寄り添うことができるように活動していきます。ぜひ一度お越しください。スタッフ一同お待ちしております。



子ども食堂アムール今後の予定

七久保林業センター（偶数月）

4月27日、6月22日、8月24日、
10月26日、12月21日、
令和7年2月22日

成人大学センター（奇数月）

5月25日、7月27日、9月21日、
11月30日、令和7年1月25日、
3月22日

町や議会に望むこと

子ども食堂の活動を一度見に来てください。そして、私たちの想いを感じてもらい町内に広めて頂きたい。

子どもたちの居場所だけではなくすべての人、一人一人が、生き生きと輝ける場所や、自分の役割を発揮できる場所が大切だと思います。

これからも町民の皆様と一緒に考え発展させたいと思っています。

ボランティアさんも**大大募集**中です。一緒に楽しく活動しませんか？

議会だより



《問題》令和6年度の一般会計の重点施策の数は

〇個

詳細はP.8

正解者5名様にいいちゃん商品券進呈

（締切は6/15、発表は発送をもってかえさせていただきます）

応募要項

住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ、いいちゃんポスト・QRコードで、飯島町議会事務局 議会だよりクイズ係宛まで



発行責任者／議長 久保島 巖

編集委員／◎堀内・◎坂本・伊藤・坂井・宮脇・片桐

あなたの声を議会だより ☎0265(86)3111 内線230 FAX.86-4395 E-mail: iijima-gikai@cek.ne.jp

いいじままち 議会だより 106号